

# 平成29年 豊後大野市教育委員会 7月定例会 議事録

## 1 開催日時

平成29年7月27日(木曜日) 午後4時03分開会 午後5時46分閉会 (1時間43分)

## 2 開催場所

豊後大野市役所 2階 教育委員会室

## 3 出席者

委員 4名中4名出席

(出席委員等)

教育長 下田 博

1番委員 佐藤 良治 (教育長職務代理者)

2番委員 藤居 あや

3番委員 衛藤 恵子

4番委員 衛藤 栄一

(欠席委員) なし

事務局 4名出席

教育総務課長 萩原 憲士

学校教育課長 山田 忠司

社会教育課長 廣瀬 宏一

学校給食共同調理場長 衛本 浩二

書記 1名出席

教育総務課 課長補佐兼総務係長 麻生 正文

## 4 付議事項等

### 報告事項

報告第4号 豊後大野市図書館等建設基本計画策定・設計業務委託プロポーザル審査委員会委員の任命及び委嘱について

報告第5号 教育指定寄附金の受納について

報告第6号 平成29年度 大分県学力定着状況調査結果について

### 議事案件

議案第33号 平成29年度 豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

## 5 会議の概要

### ○出席者報告

萩原教育総務課長	皆さま、こんにちは。具体の応援ありがとうございました。お疲れでした。それでは、委員の皆さまお揃いですので、出席者の報告をさせていただきます。出席委員(4)名・欠席委員(なし)・そして教育長と教育委員会事務局(4)名の出席であります。
----------	--

	それでは、あとは 教育長よろしくお願いいたします。
--	---------------------------

## 1 開会

下田教育長	(時候のあいさつの後) それでは、ただいまから平成29年7月豊後大野市教育委員会定例会を開会いたします。 (午後4時03分開会)
-------	---

## 2 前回議事録の承認

下田教育長	最初に 会議規則第6条第1項第2号の規定に基づき 6月28日開催の6月定例会 の議事録の承認を求めます。 議事録につきましては、事前に送付され、委員各位もご覧のことと思います。つきましては、事務局からの説明を省略し、承認手続を行います。 議事録について、ご質問等を受けたいと思いますが、何かございますか。
全委員	(「ありません」の声)
下田教育長	ご質問等がないようですので、6月定例会の議事録を承認することに、異議ありませんか。
全委員	(「異議なし」の声)
下田教育長	異議なしと認め、承認します。

## 3 議事録署名委員の指名

下田教育長	続いて、会議規則第17条第2項の規定に基づき、本会議の議事録署名委員の指名を行います。2番 藤居 あや 委員を指名します。よろしくお願います。
藤居委員	はい(了承)

## 4 会期の決定

下田教育長	次に、会期の決定であります。付議事項等を勘案いたしまして、本日一日限りとしたしたいと思います。異議ありませんか。
全委員	(「はい、異議なし」の声)
下田教育長	異議なしと認め、本日一日限りと決定します。本日の付議事項は、報告事項が3

件、議事案件が1件です。よろしくお願いします。

## 5 諸報告

### (1) 教育長報告

下田教育長	諸報告に入ります。まず(教育長報告)、私からの方からの報告をさせていただきます。よろしくお願いします。 (教育長が平成29年7月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)
下田教育長	以上で私の報告(教育長報告)を終わります。この報告に対して、ご意見ご質問がございましたらお願いいたします。
全委員	(「声なし」)
下田教育長	よろしいですか。
全委員	(「はい。」の声)

### (2) 各課報告

下田教育長	それでは、ご質問がないようですので、各課報告に移ります。 各課の主要な報告を順次、簡潔にお願いします。はじめに、教育総務課長 お願いします。  (萩原教育総務課長が平成29年7月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告 をする)
下田教育長	では、続きまして 学校給食共同調理場長 お願いします。  (衛本学校給食共同調理場長が平成29年7月豊後大野市教育委員会定例会資料 により報告をする)  ※口頭にて、資料修正有。【事業報告の表:7月25日の内容欄を「学校給食運営委員会」へ、7 月26日の内容欄を「調理作業の引継ぎ(26日～27日、市職員・委託業者)」へ)
下田教育長	では 学校教育課長 お願いします。  (山田学校教育課長が平成29年7月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告 をする)  ※口頭にて、資料修正有。【事業報告の表:7月24日の内容欄で「ジオパーク学習(千歳小が 姫島小へ)」を「ジオパーク学習(姫島小が千歳小へ)」, 事業計画の表:8月3日の内容欄で 「ジオパーク学習(姫島小が千歳小へ)」を「ジオパーク学習(千歳小が姫島小へ)」へ)

下田教育長	<p>続きまして 社会教育課長 お願いします。</p> <p>(廣瀬社会教育課長が平成29年7月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)</p>
下田教育長	各課の報告が終わりました。どこからでも結構です。ご意見ご質問がございましたらお願いします。
全委員	(声なし)
下田教育長	よろしいですか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	はい、それではないようですので、次に移ります。

## 6 付議事項等

### ○報告事項

#### 報告第4号 豊後大野市図書館等建設基本計画策定・設計業務委託プロポーザル審査委員会委員の任命及び委嘱の対象者の変更及び追加について

下田教育長	<p>それでは、まず報告事項に入ります。</p> <p>まず、報告第4号の報告を求めます。</p> <p>これにつきましては、社会教育課長の報告並びに説明を求めます。お願いします。</p> <p>(社会教育課長が平成29年7月 豊後大野市教育委員会定例会資料により説明 &lt;理由&gt; 平成29年6月豊後大野市教育委員会定例会にて承認をいただいた「豊後大野市図書館等建設基本計画策定・設計業務委託プロポーザル審査委員会委員の任命及び委嘱について」であるが、委員の変更及び追加する必要が生じたので、豊後大野市教育委員会事務委任規則第3条に基づき教育長の臨時代理処理案件としたので、第5条の規定により別紙のとおり報告する。</p>
下田教育長	ただいま、社会教育課長から説明がありましたが、この件について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
全委員	(「ありません」の声)

下田教育長	よろしいですか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	それでは、他にないようですので、ただいまの報告のとおりでお願いします。 次に移ります。

#### 報告第5号 教育指定寄附金の受納について

下田教育長	続きまして、報告第5号の報告を求めます。 これにつきましては、教育総務課長の報告並びに説明を求めます。お願いします。  (教育総務課長が平成29年7月 豊後大野市教育員会定例会資料により説明)
下田教育長	ただいま、教育総務課長から説明がありましたが、この件について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
全委員	(声なし)
下田教育長	よろしいですか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	それでは、他にないようですので、ただいまの報告のとおりでお願いします。 次に移ります。

#### 報告第6号 平成29年度 大分県学力定着状況調査結果について

下田教育長	続きまして、報告第6号の報告を求めます。 これにつきましては、学校教育課長の報告並びに説明を求めます。お願いします。  (学校教育課長が平成29年7月 豊後大野市教育員会定例会資料・別途資料 [2部]により説明)
下田教育長	ただいま、学校教育課長から説明がありましたが、この件について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。少し、時間を取りましょう。

衛藤栄一委員	ひとついいですか。
下田教育長	はい、どうぞ。
衛藤栄一委員	特にデータで見ると、偏差値の数字的に見ると学校毎の開きが大きな気がするのです。それはどう捕らえているのでしょうか。三重中が、母体が大きくなるので仕方がないにしても、他の中学校にしては、豊後大野市が、僕は差が開いているように感じるのですが。
山田学校教育課長	中学校からいいますと、今年度社会科が初めて実施されました。社会科の授業はどのような形で行われているかというのが、一つポイントになってくるかと思えます。どの教科についてもそうなのですが、ある資料を提示されてその中から読み取ってまとめていくということが求められます。暗記型でないような形です。ですから、今回初めて社会科はテストが行われて、実際自分たちの授業がどうだったのかを中学校の社会科部会の中で総括していかないといけないと思っています。
下田教育長	ちょっと待ってください。質問はどういうことだったのでしょうか。開きが大きかったのは学校毎のことでしょうか。他郡市のことでしょうか。
衛藤栄一委員	学校毎です。
下田教育長	各学校の開きが大きい。具体的にいいますとどういうことでしょうか。
衛藤栄一委員	偏差値でいうと56から46は10ポイントも違うということは、偏差値的にはとても大きいと思います。
下田教育長	何の教科でしょうか。
衛藤栄一委員	これは、理科です。緒方中学と三重中学ですね。位置的にいうと清川中学と犬飼中学は分母的にはそんなに違わないと思うのですが、数値的にはちょっと犬飼中学の方がちょっと上がっていると思います。地理的なものとか、そういったものを含めてどう捉えているのかと思うのですが。
山田学校教育課長	今、具体的に犬飼と清川と出されましたが、ここに具体的な資料を提示できてなくて申し訳ないのですが、昨年度清川はほとんどクリアできていました。学年の差も若干あるかもしれませんが。私たちが分析する中で、犬飼中の数学や犬飼小の算数をみるときに、ものすごく高いのです。それは、昨年度まで犬飼は習熟度別の研究を加配といいますか、人員を配置して行っていました。その成果が確かに現れていると考えています。ですから、今後はやはり人数的

下田教育長	<p>に厳しい学校や課題が多い学校については、積極的に市教委も仕組んでいかなければ具体的な改善が難しいと思っています。それぞれの学校で結果が出ていることが、その学校だけの良さにせず他の学校にも応用することが教育委員会に求められていると考えています。</p>
山田学校教育課長	<p>ちょっと分析が甘くて明確にお答えできなくて、また改めて分析を変えてキチット報告をしたいと思っています。今までの分析も良くなかったという認識をしています。同じことを繰り返してきているので、ただ学校毎の学年毎のばらつきがあるというのは、他の市はそのようなことはなくて毎年クリアしているので、それは言い訳にしかならないので、その言葉は二度と使わないようにしてください。</p>
下田教育長	<p>分かりました。 学校教育課でも今教育長が言われましたどの視点で分析するのか、どの視点で分析することが学校にとってプラスになるのかということで、分析の仕方をただ単に数字で分析するのではなくて、もう少し中身に突っ込んだ形で分析し、できている学校できていない学校、点数の結果が出ている学校出ていない学校に取組みの差に何があったのかを丁寧に分析しながら、いいところを共有する形で取組みを進めたいと思います。</p>
衛藤恵子委員	<p>他にありますか。はい、どうぞ。  今日、藤居委員とも話しが出たのですが、直接この結果とは関係ないかもしれないのですが、放課後TRYとか夏休みTRYのやり方がどうなのかと話しをしたのです。自由だから来ない子どもさんもいる。来ているけど、簡単にできてただスピードだけでやる子、なかなかそこに集中できない子、犬飼の習熟度別を先程上げられたのですが、そういう取組みも必要ではないかと、同じ取組みでTRYをやってもいまひとつ成果につながっているのかなということをもたまたま話したので、ちょっと述べさせていただきます。</p>
下田教育長	<p>どうぞ。</p>
山田学校教育課長	<p>そのことも分析の中でしっかり取り入れていきたいと思っています。特に2年3年という形で、1年間トータルするとかなりの時間をそこに費やしていますし、そこでご協力いただいています。その部分が子ども達の意欲を高めることにつながっているのか、それと子ども達の自信につながっているのかの内容について精査しなければならないと思っています。今回夏休みTRYについては、(参加者数について)学校によっては全部参加した学校、絞って参加した学校等々があります。小学校については40%ぐらいの子どもが参加しています。中学校でいうと20%ぐらいの子どもが参加しています。やはり、どこに焦点</p>

衛藤栄一委員	<p>をあてるのかということをやっけていかないと、そこに人的配置が必要ですから、より良いものを、いい取り組みを全市で共有するというスタンスで分析をしたいと思います。</p> <p>関係ないことですが、私子どもがいるのですが、持ってくるプリントが全部100点なのです。私が勉強した時代は、バツテンがついた問題が一番問題で、自分が間違えた所です。先生か自分が赤ペンで修正して、そこを解けるようにするために勉強したのです。ところが今は、分からないのですが学校の先生が全部消しゴムで消して正答を書いて丸をして100点をくれて帰ってくるのです。どこが間違っているか、親としては分からないのです。この子がどこを分かってないのか、プリントを見るたびに、「どこ間違っただの？」聞くと、「消しゴムで消した後があるところが間違っただの」というのです。消した後なので、どこを間違っただかが分からないのです。学校の先生としては、100点をあげようとしているのか、いわゆる100点をもらえないのが問題なのか、間違っているところが問題なのか、問題がみんな平等に100点をあげることがいいことで、入れ違っているのではないかと、言っている事分かってもらえますか。間違っている所が一番問題だと、僕は思うのですが。100点をもらうことが問題でなく、ここで言うことではないとは思いますが。</p>
下田教育長	<p>そんなことはないですね。その辺ちよつとどうでしょうか。</p>
山田学校教育課長	<p>最近どうやっているかは、学校や個人によってもまだまだ差があるとは思っております。間違っただをやりあげてしまえば最後に100点をあげるという形、学校や先生によってはペンの色を変えるだとかいう形で、1回目の採点は赤ペンで、2回目の採点は青でとかいう形で間違いが分かるように、自分ができるようになったところが分かるようにやっている例もあるのですが、場合によっては衛藤栄一委員のご指摘されるような形で、子ども達もどう考えているのか、親ももらってどう読み取ればいいのか分からないという実例があると考えております。そういうことについても、今まで議論はしてきませんでした。が、小さなところの日常的事から議論を市教振の中に学年部会がありますから、その中で議論を重ねながらやっていきたいと考えます。</p>
衛藤栄一委員	<p>ドリルとかは100点をあげていいと思います。章末とかまとめのテストとかはきちつと点数を出してあげないと、保護者が見たときに、勉強に興味がない保護者でも「うちの子が40点取ってきた！」とあわてると思うのです。ところが、100点をもらってくるから、あわてないのだと思うのです。という心配があったので。</p>
下田教育長	<p>これは、課長早急に対応してください。実態把握を含めて。</p>
山田学校教育課長	<p>分かりました。</p>

藤居委員	<p>合わせて一ついいですか。</p> <p>衛藤栄一委員さんの意見をうかがって思ったのですが、中学校の定期考査に関して、間違った所のやり直しとか解説とかは学校でどうされているのでしょうか。今、ふとと思って、小学校のテストよりも中学校のテストの方が、そういう意味では点数に開きがあると思うのです。何を間違ったかが、おっしゃるとおり、一番大事な事で、その積み重ねがやっぱり高校入試とかにつながっていくと思ったのですが。確かに自分のところの子どもがテストを返してきてもらっても、そのテストをやり直したかやり直してないかは、あまり今まで気にしたことがなくて、順番と点数で、なぜそこが間違っているのかは中学生になると親にあまり細かく言わなくなってくるので、テストがそのとき分からなかったところを自分でどう納得して処理しているのか、指導というかそういうやり直しとかは中学校でどうされているのかなと思ったのですが。</p>
山田学校教育課長	<p>私も認識していない所もありますので、そこを合わせて早急に把握したいと思います。自分の子どもが学校に行っているときは、テストの「やり直しノート」がありました。きちっとやり直しをして提出する。そういうやり方もあると思いますので、先程藤居委員さん衛藤栄一委員さんが言われるように、保護者の方と子どもの状況を共有してもらうためにも、そこをきちんと示すかということについて、しっかり状況を把握して、また次回報告をさせていただきたいと思います。</p>
下田教育長	<p>中学校は必ずテストを配った後やっていますし、そういうノートも作っています。全ての学校でやっています。そのやり直しが、身についているかは別問題ですが。</p>
藤居委員	<p>そうですか。そのやり直しで終わっている感じです。</p>
下田教育長	<p>ああそうですね。解答を見ながらやっている。</p>
藤居委員	<p>何となくやり直して。</p>
下田教育長	<p>そういう実態はあるかもしれません。もう一回調査をしてもらうことで。他に、佐藤委員さんありますか。</p>
佐藤委員	<p>まあ、それが大事ではないかと思います。我々もそういう意見を発しなかったということで、私も保護者的にはずいぶん離れていますので、実態としてなかなか感じなかったのですが。皆さんおっしゃるとおり、その点は必要かなと思います。それは、把握だけでなく、教える側にもそういうことの認識を持っていただくということも大事ではないかと思います。</p>

山田学校教育課長	分かりました。
藤居委員	もう一ついいですか。このような学力定着テストとかの大きな外部のテストに関してなのですが、比較的基礎基本をやっている問題も多いかと思うのですが、どうしてもひねってくる問題も出てくるのではないのでしょうか。やっぱり初めてそのような問題に接すると、どうしていいか分からないことが多々あるのではないかと思います。そういうのはところどころで、授業とかで取り上げたり、考えたりする習慣化だとかはされるのでしょうか。
山田学校教育課長	やっぱり、中学校は15歳のときに受験がありますし、テストの傾向がどんどん変わってきますし、特に自分の考えを述べるだとかまとめるだとかが力として求められています。国語の授業を含め、いろんな授業の中でお互いに意見交換をして分析して結果をまとめるだとか、それを友達にどう伝えるだとかは授業の中でやられています。小学校については、なかなかその单元の中で、毎回毎回応用的なことを一斉に扱うことが難しいので、2学期後半から3学期にかけて、今まで過去にやられてきた全国のテストとか、県のテストとかを特に応用問題を全体で解説し、グループ分けをしながら、解いてみて考え方を整理する、考え方に慣れるとかは、それぞれの学校でやっているところです。そのことが、子どもの中にどのように落ちているとか、そういう時間の持ち方が学校毎に差が出てくるのだらうと考えています。その辺りが、豊後大野市としてやり方が全体的に一律という形でできれば、分析も何が課題だったかという形の分析につながらうかと思います。そういうことも課題にしながらかえて行きたいと思います。慣れるというか、体験することが、小学校中学校それぞれ時期が違いますが、実施しているという状況があります。
藤居委員	はい。
下田教育長	はい。他にありますか。
全委員	（「ありません」の声）
下田教育長	議案の数とかも関係しますが、フリートーキングする機会も設けてもらうように事務局をお願いしたいと思います。 また、8月には全国の結果が出てきます。その際には少し時間を取って、学校教育課ももう少し答えられるように、早急に分析をしておくようお願いいたします。「こうではなかろうか(推測の域)」という分析のツケが出ていると、私はずっと思っています。具体的に、それでやってもダメな場合には、手続きを変えないといけないと思うので、人数の多い中学校も来年は頑張るでしょうから、全部黒になると私は信じています。人数の少ない中学校は必然的に頑張

下田教育長	っているのでしょうか。そういう分析をしてあげて欲しい。他の中学校の巻き添えになったように豊後大野市全体が悪いという評価ではダメだと思いますので。
全委員	では、よろしいでしょうか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	それでは、第6号報告については、ただいまの報告のとおりでお願いします。議案に入りたいのですが、その前に、時間の関係がありますので、先に8月定例会の日程調整を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	教育総務課長をお願いします。

## 〔報告事項と議事案件の間に「8. 連絡調整」を行う。〕

### 8 連絡調整

#### ○ 8月定例会の日程調整

萩原教育総務課長	<p>はい、それでは8月以降の提案させていただきます。</p> <p>先般担当より調整の連絡をさせていただきましたが、まず第7回臨時会ですが、宮崎市の研修帰庁後の8月4日(金)午後1時30分から予定していましたが、午後2時からの開催とさせていただきたいと思います。議案についても、「道徳の教科書採択」の1件のみでしたが、「平成28年度事務事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について」も議案として追加させていただきたいと思います。午後3時30分ぐらいには終了するのではないかと考えているところです。</p> <p>また、第8回臨時会を8月10日(木)午後2時30分から開始させていただきたいと思います。議案については、教育委員会事務局職員の人事案件1件です。給食調理場の職員の任用替えに関するものです。内示をする前に教育委員会の承認をいただくものです。終了後の午後3時より引き続き市長召集の「総合教育会議」を音楽室で開催したいと思います。また、夕刻より別会場にて、「総合教育会議」参加者での意見交換会が予定させていただいておりますので、よろしくお願います。</p> <p>8月の定例会については、最後の週の8月28日月曜日の午前9時30分から開催させていただきたいと思います。委員さん方の日程の確認をさせていただきたいと思います。</p>
下田教育長	ただいま、教育総務課長より提案がありました。 まず、第7回臨時会と第8回臨

全委員	時会、総合教育会議の件については、委員の皆さん方どうでしょうか。
下田教育長	(「良いです。」の声)
全委員	8月定例会の部分ですが、8月28日月曜日 午前9時30分から開催、という提案がありましたが、皆さん、ご都合はどうでしょうか。
下田教育長	(「良いです。」の声)
全委員	8月は会議が重なりますが、大変ご迷惑をおかけしますが、よろしく願いいたします。
下田教育長	それでは、その他に日程調整にご意見ありますか。よろしいですか。
全委員	(「はい」の声)

## ○議事案件

### 議案第33号 平成29年度 豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

下田教育長	続きます。議案第33号の審議に入ります。この議案の説明及び審議内容等につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、非公開 秘密会としたいと思います。よろしいでしょうか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	異議なしと認めます。それでは、教育総務課長、学校教育課長のみで審議しますので、他の課長は退席をお願いします。なお、他の課長さん方につきましては、33号議案終了後そのまま閉会としますので、以後の出席は結構です。また、学校教育課担当職員の臨席は認めます。それでは、ここで一時休憩に入ります。
	(午後5時8分)
	□□□ 一時休憩 □□□
	～ 社会教育課長・学校給食調理場長・担当者退出 ～
	～ 学校教育課担当職員(深田主幹)入室 ～
	(午後5時10分開議)
	<b>(非公開・秘密会) 開始</b>
	※審査時は、教育長、教育総務課長、学校教育課長、学校教育課担当職員のみ臨席した。
	※審議結果は、審査対象者2名のうち、認定2名、不認定・保留なしであった。

	(非公開・秘密会) 終了
	(午後5時30分休憩)
	□□□ 一時休憩 □□□
	～ 学校教育課担当職員(深田主幹)退出 ～
	～ 担当者 入室 ～
	(午後5時30分開議)
下田教育長	それでは、開議します。

## 7 その他

山田学校教育課長	別件でよろしいでしょうか。学力向上会議と運動会関係の件です。
下田教育長	その他の項ですね。どうぞ。  (山田学校教育課長が教育委員と調整を行った。) 平成29年度第1回学力向上会議, 幼稚園・小学校運動会, 中学校体育大会の出席に伴うスケジュール調整を行う。 ○学力向上会議関係 8/21緒方(衛藤栄一), 8/22清川(衛藤栄一), 8/23三重(佐藤良治)・千歳(藤居あや) 8/25大野(衛藤恵子)・8/28犬飼(藤居あや)・8/31朝地(衛藤恵子) ○運動会・体育大会関係 9/9 ……三重中(佐藤良治), ・大野中(衛藤恵子), ・犬飼中(藤居あや) 9/16 ……清川小(衛藤栄一), ・緒方小(衛藤恵子…後日出席不可連絡有) 9/23 ……三重第一小(佐藤良治), 大野小(衛藤恵子), ※他の小中学校については、教育委員会事務局にて対応予定
下田教育長	他にないですか。
萩原教育総務課長	よろしいですか。
下田教育長	はい、どうぞ。
萩原教育総務課長	以前、衛藤栄一委員さんから質問のあった保育園の件です。
衛藤栄一委員	学童全体ですね。
萩原教育総務課長	認定こども園ということでよろしいのでしょうか。今まで市の方で管理していた保育園が、学校法人に委託し認定こども園として活動している施設であります。その施設の不具合を、保護者からの意見をどうやって通していけば良いかというご

	質問だったと思うのですが、それでよろしいでしょうか。
衛藤栄一委員	保育園部分は保育園で統括できていると思うのですが、私は学童の方で質問したと思います。学童保育です。小学生の放課後保育になります。
萩原教育総務課長	中の施設の管理とかでしょうか。
衛藤栄一委員	学童保育は、すごくグレーなゾーンが多くて、面積や教員の資格などが、今年確定したのかなと思います。学童やりますということでやれるのです。PTAでやっているところもあります。そこ辺の安全管理を含めて、市が関わっていくのか、前は豊後大野市がやっていたのです。支所の2階で行っていたのです。その後、認定こども園に移行したのです。あの時、市の説明会では、当分は市が管理運営を行いますということでした。保護者との会では約束をして、説明はされたのです。実際どこまで把握されているのかと思い、お聞きしたのですが。
下田教育長	昨日(協議した)の資料を見てみてください。
萩原教育総務課長	担当課としましては、社会福祉課子育て支援室で、施設は基本的には直接認定こども園になるのですが、直接言っていた方がいいのですが、なかなかいえない部分もあるかと思しますので、そういう場合には社会福祉課子育て支援室に言ってくださいとのことでした。
衛藤栄一委員	市の方から一方的に認定こども園に委託しますということで説明が始まったのです。説明がないまま、その状態でポーンと入って、OKでしょうか、アンケートも取らずに、全てポンポンポーンと行って進んでしまいました。あの時料金も上がる、条件も悪くなるし、その状況下で保護者に説明をされて、この状況下では仕方がないのでと、説明会はすると決めた後(委託決定後)からの事後説明会でした。そのときは、私は担当者におかしいのではないかと聞いたのですが、アンケートも取ってないことだし、(担当は)とりあえずそうなったのでということでした。あのときの説明会では、市が施設管理しますとのことだったので、見守っていきますと、学童保育を認定こども園と保護者で作っていきましょうとの説明をされたのです。この前質問してから少し経っているのですが、1度たりとも保護者説明会は行われていません。直前になってからの資料提供です。夏休みはこうなりましたと、夏休み直前です。給食にしますとか、後手後手になっています。回ってないのが伝わってくるのです。それに対して、市はどう捉えているのか、どう管理しているのか、市の方が委託しますと決めたのだから、当分の間管理しますと、市が運営していた状況を守りますと約束をされていて、何なのだろうかという状況です。保護者の方に聞くと、すごく連絡が遅いし、始まってから関係する保護者への説明会も開催していない状況です。
萩原教育総務課長	両方で説明会を開催するのがいいのだと思うのですが。

衛藤栄一委員	そうですね。
下田教育長	こちらも指導をしないといけない。社会福祉課が。その意見をちゃんと伝えて、社会福祉課から認定こども園にいわないといけないと思います。
萩原教育総務課長	それはそうなのですが、市が最初の約束を守っていないというところも一緒に説明した方がいいかと思います。
下田教育長	社会福祉課が窓口になって、きちっと認定こども園に、条件を提示して委託を受けているのだから、きちっとしなければならない。放課後、子ども達を預かる場所をしていたのだから、そこしかない。選択できないのだから。
萩原教育総務課長	経過と今の状態とどうするのかということを、担当者や担当係長から連絡をさせます。
衛藤栄一委員	どうもすり合わせがうまくいっていない。子どもが、1年生が迎えに来るのか来ないのか分からないから聞いて、とか私の所に電話がかかってくるのです。そんなこと私に言われてもと思いつながら、あの時話したのが私だったので、認定こども園とメインで話したのが私だったので。奥さんの厳しい方に言わせると、〇〇保育園学童と前は名前が入っていたのに名前が入っていないとか、資料も徹底していないし、もう誰に言っていないかも分からない。担当者・部局もないし、親子の相談係とか置かないといけないというルールが調べたところではあると皆さん言ってこられたりするのですが、ずるずるずるっとずっているのはずっているのですけど。
萩原教育総務課長	不満がちょっとたまっているのでしょうか。
衛藤栄一委員	たまっているのです。
萩原教育総務課長	分かりました。はい、詳しい内容が分かりましたので、連携を取らせていただきます。
衛藤栄一委員	よろしくお願いします。
下田教育長	保護者会はできているのでしょうか。
衛藤栄一委員	できてないです。
下田教育長	できてないですね。ということは、連絡の取りようがないということですね。個人対応で全部しないといけないということですね。
衛藤栄一委員	そうです。

下田教育長	そういう現状があるということは、分かりました。それは、対応してください。担当者の方が、1回直接お会いして、その問題点を聞いたうえで、又聞きでいってしまうと問題なので、1回衛藤栄一委員さんと話しをしてもらいたいと思いますので。
衛藤栄一委員・萩原教育総務課長	はい。
下田教育長	他に、よろしいでしょうか。
全委員	(声なし)

## 9 閉会

下田教育長	<p>それでは、これをもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。 平成29年7月 豊後大野市教育委員会定例会を閉会いたします。 お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">(午後5時46分閉会)</p>
-------	--